

各 位

 会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡
 (J A S D A Q ・ コード 5 2 1 6)

 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取 締 役 経 理 部 長 関 根 紀 幸
 電 話 0228 32 5111

平成 17 年 12 月 期 業 績 予 想 (連 結 ・ 単 独) 及 び 期 末 配 当 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 8 月 19 日付当社「平成 17 年 12 月 期 中 間 決 算 短 信 (連 結)」
 において公表いたしました平成 17 年 12 月 期 (平 成 17 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日) の 業 績 予 想 (連 結 ・
 単 独) 及 び 期 末 配 当 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す 。

記

1 . 平 成 17 年 12 月 期 通 期 単 独 業 績 予 想 の 修 正 (平 成 17 年 1 月 1 日 ~ 平 成 17 年 12 月 31 日) [単 独] (単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	加 工 売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り の 期 末 配 当 金
前 回 予 想 (A) (平 成 17 年 8 月 19 日 公 表)	21,600	11,350	1,400	1,800	10 円 00 銭
今 回 予 想 (B)	21,946	11,068	1,665	2,403	00 円 00 銭
増 減 額 (B - A)	346	282	265	603	10 円 00 銭
増 減 率	1.6%	2.5%	-	-	-
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 16 年 12 月 通 期)	27,022	13,479	26	601	00 円 00 銭

「加工売上高」は、売上高から材料費を除いたもので利益との相関が高いため開示しております。

2 . 平 成 17 年 12 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 (平 成 17 年 1 月 1 日 ~ 平 成 17 年 12 月 31 日) [連 結] (単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A) (平 成 17 年 8 月 19 日 公 表)	31,000	800	1,400
今 回 予 想 (B)	30,785	1,095	2,222
増 減 額 (B - A)	215	295	822
増 減 率	0.7%	-	-
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 16 年 12 月 通 期)	33,617	141	486

3. 通期業績予想修正の理由

単独

弊社下半期（7～12月）においては、堅調な需要に支えられ、液晶パネル市況の緩やかな回復とともに〔液晶ガラス基板加工品〕の受注が増加いたしました。下期に見込んでいた〔成膜ガラス基板〕の主力製品のひとつであるITO膜の受注はカラーSTN向けITO膜の外注市場の回復の遅れ等から伸び悩みました。

これらの結果、売上高は公表数値に対し346百万円のプラスとなるものの、実質的な売上高である加工売上高は同282百万円の未達となる見込みであります。

収益面におきましては、〔成膜ガラス基板〕の受注減が響いたほか、海外市場における大型ガラス基板ビジネスの立上げに伴う研究開発費の増加や子会社からの受取配当金の減少などにより、経常損失は公表数値に対し265百万円悪化する見込みであります。

また、特別損失に米国短期金利の上昇による金利スワップ評価損399百万円を計上したほか、稼働見込みのない固定資産の除却を進めたことなどにより、当期純損失は公表数値に対し603百万円悪化する見込みであります。

連結

主として単独の業績悪化により、当期純損失は公表数値に対し822百万円悪化する見込みであります。

4. 期末配当予想の修正理由

上記に伴い、1株当たりの期末配当金を10円00銭と発表しておりましたが、業績予想の修正に伴い今期無配とさせていただきます。

以上

[業績等の予想に関する注意事項]

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化により、この資料に記載されている予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。